



## 死亡事故の半数近くは「交差点とその付近」で発生

死亡事故件数を道路形状別にみると、交差点内が1,587件（37.1%）、交差点付近が507件（11.8%）を占め、交差点内と交差点付近を合わせると48.9%となり、死亡事故の半数近くが交差点内とその付近で発生しています（図4）。

交差点では、他車や自転車、歩行者の動きに十分注意して、慎重な運転を心がけましょう。

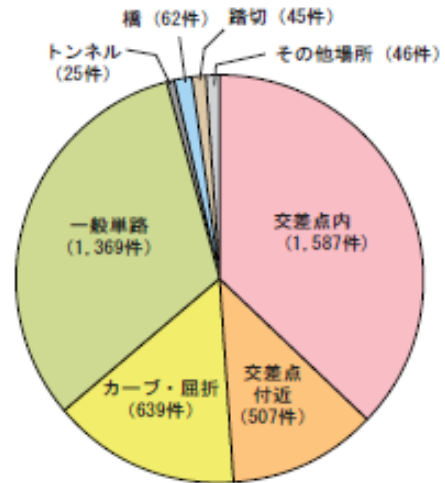


図4 道路形状別死亡事故件数 (平成24年)

## 「漫然運転」と「脇見運転」による死亡事故が3分の1を占める

原付以上運転者が第1当事者となった死亡事故件数を法令違反別にみると、「漫然運転」が692件（17.7%）で最も多く、次いで「脇見運転」569件（14.6%）となっており、両者でほぼ3分の1を占めています（図5）。

運転中に考え事をしたり脇見をすると、周囲に対する注意力が薄れ、危険を見落としたり発見が遅れてしまいます。運転中は決して気を緩めることなく運転に集中し、周囲の状況によく目を配って走行しましょう。

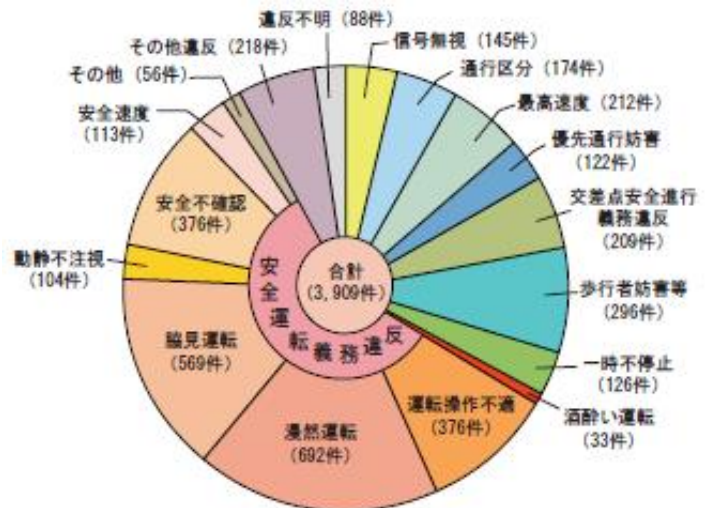


図5 原付以上運転者(第1当事者)の法令違反別死亡事故件数 (平成24年)

## 死亡事故件数・死者数とも昼間より夜間のほうが多い

死亡事故件数を昼夜別にみると、昼間が2,069件（48.3%）、夜間は2,211件（51.7%）と夜間が昼間を上回り、死者数についても、昼間が2,147人（48.7%）、夜間は2,264人（51.3%）と夜間が上回っています（図6）。

夜間は昼間よりも視界が悪く、危険の発見が遅れやすくなりますから、スピードを控えめにするとともに、車間距離を十分に取って走行しましょう。

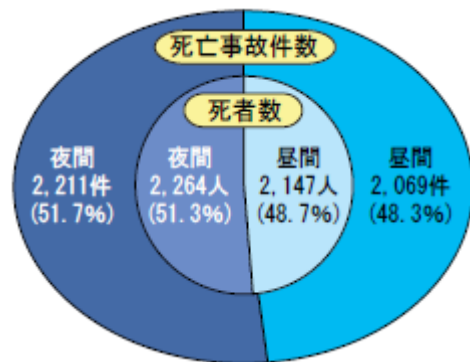


図6 昼夜別死者数と死亡事故件数 (平成24年)

## 「ご相談・お申込先」

株式会社 保険企画カワイダ  
鹿児島市薬師2丁目5番22号

TEL 099-253-4405 FAX099-253-4425

【制作】株式会社インターリスク総研 開発グループ